

開講科目名 / Course	災害看護学	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 3 学期 / Third	
開講区分 / semester offered	3 学期 / Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	石田 佳代子	
担当教員名 / Instructor	石田 佳代子、福田 広美、石丸 智子、松 久美、内倉 佑介	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	本講義では、災害の基礎的知識として、災害の種類と特徴、災害サイクル各期の特徴と災害医療・看護、保健医療対応の原則、災害と法律・制度、災害発生時の医療体制や支援体制、災害への備えなどについて、幅広い視点から多角的に学ぶ。また災害時特有の疾病・病態や医療対応の要点を学び、災害時に必要とされる迅速かつ確かなアセスメント（トリアージの基本的な方法の習得など）および災害時の看護マネジメントの基礎的能力を身につける。	
到達目標	1. 災害の歴史、定義、種類、災害サイクル、法律・制度、災害発生時の対応やしきみなどを包括的にまとめ、看護職者として連携することができる基礎的知識を備えることができる。 2. 災害サイクル各期における特徴と健康問題、災害看護の役割と活動などを考察し、対象者のニーズに合わせて応用するために必要とされる能力について議論することができる。 3. トリアージ（一次トリアージ：START法）についてその手順を述べるができる。また、トリアージ・シミュレーションにおいてトリアージ区分を分類し、実施できる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	01. 災害および災害看護に関する基礎的知識（石田） 02. 災害サイクルと看護活動：超急性期～急性期（石丸） 03. 災害サイクルと看護活動：亜急性期～慢性期（石田） 04. 病院における災害看護（福田） 05. 災害に関する法律・制度、災害への備え（石田） 06. 災害時特有の疾病・病態とアセスメント（内倉） 07. 災害時における医療活動の実際：避難所等における活動（石田） 08. 災害時における医療活動の実際：DMAT活動など（松） 09. 災害時に必要な看護技術：演習（1）トリアージ（START法）、情報伝達訓練（松・石田・石丸・内倉） 10. 災害時に必要な看護技術：演習（2）机上訓練（松・石田・石丸・内倉）	
その他の授業の工夫	実際の災害現場での活動経験が豊富な講師が演習を進行する。トリアージ・シミュレーション訓練、情報伝達訓練、机上訓練などの体験型学習を中心に行う。	
時間外学修	事前学修：e-learning等を用いた演習前の学習準備（4h）。 事後学修：テキストの該当部分や配布資料に基づき、関連事項を整理し、レポートを書くことで、理解を深める（15h）。	
評価方法と評価割合	レポート（各教員が課題を提示する）により評価する（100％）。（参加できなかった場合には、その回の教員に至急、連絡して指示を受けること）	
テキスト	看護学テキストNiCE災害看護（改訂第4版）（南江堂）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	石田佳代子：災害支援ナース、病院の看護師 福田広美：病院の看護師 松久美：日本DMAT、病院の看護師 石丸智子：病院の看護師 内倉佑介：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	国内の災害時にDMATや災害支援ナースとして被災地で医療活動を行った経験を活かした事例場面を取り上げ、その実際について解説する。また、各教員のスキルを活かした実践的な演習指導を行う。	